



©2005 石塚真一/小学館

第383号<令和7年(2025年) 3月5日>

# 信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ 特別隊員 島崎 三步 の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

長野県警察

## ■焼岳 噴火警戒レベル「2」に引き上げ！

<気象庁HPより>

気象庁は、北アルプス焼岳で、山頂付近を震源とする微小な火山性地震が増加したことから、3月4日(火)9時20分に「噴火警戒レベル2(火口周辺規制)」に引き上げました。

### <火山活動の状況>

焼岳では、3月3日の14時頃から山頂付近を震源とする微小な火山性地震が増加しています。

GNSS連続観測では、山頂付近で緩やかな膨張を示すと考えられる変化が続いており、中長期的に火山活動が高まってきています。想定火口域から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

### <防災上の警戒事項等>

想定火口域から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

### 気象庁<焼岳の活動状況>

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity\\_info/310.html#kaisetsu](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity_info/310.html#kaisetsu)

### 焼岳・乗鞍岳火山防災協議会

[https://www.pref.nagano.lg.jp/matsuchi/matsuchi-somu/somukanri\\_kenmin/kazanbosai.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/matsuchi/matsuchi-somu/somukanri_kenmin/kazanbosai.html)

### 松本市<焼岳の登山について>

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/7/165070.html>

## ■御嶽山も 噴火警戒レベル「2」が続いています。

御嶽山は、1月16日(木)「火口周辺警報」が発表され、噴火警戒レベルが「2」(火口周辺規制)に引き上げられ、継続中です。

“地元町村等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。”

気象庁<御嶽山の活動状況> [https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity\\_info/312.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/activity_info/312.html)

御嶽山火山防災協議会<木曾御嶽山安全対策情報> <https://www.ontake-volcano.jp/kisei/>

## ■外国人向け啓発動画&雪山・バックカントリー安全啓発動画 公開中！



「Ski Safety in NAGANO」

⇒ <https://db.go-nagano.net/en/staying-safe-in-the-backcountry/>

「バックカントリー装備」

⇒ [https://www.youtube.com/watch?v=6wSpi\\_ufRlo](https://www.youtube.com/watch?v=6wSpi_ufRlo)

「雪山での危急時に役立つ簡易雪洞」

⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=EEnTxQRrieM>

## ■先週の山岳遭難発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
2/25 火	北アルプス鷲峰 (ひよどりみね)	女	37	負傷	転倒	3人パーティで、バックカントリーを滑走中、転倒し、負傷
3/1 土	浅間連峰 車坂山	男	59	無事救出	発病	単独で黒斑山に向けて登山中、体調を崩して行動不能に

## ■長野県警 山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

先週、長野県内では、2件の山岳遭難が発生しました。

先週は、気温が上昇し、暖かい陽気となった日もあり、これからは一日の寒暖差が大きくなる時期です。標高の高い山域でも気温の上昇により、雪が溶け、気温の低下とともに一気に凍結してアイスバーン状になることが少なくありません。

歩行中や滑走中は、雪の状況をしっかりを見極めて行動する必要があります。また、アイスバーン状の雪面に新雪が積もると表層雪崩の発生リスクが高まります。

冬山登山やバックカントリー滑走は、積雪の状況を見極めて、雪崩のリスクや滑落の危険がある場合には、自分の技術を過信せず、慎重な行動を心がけましょう。状況が悪い時は、入山を控える判断もとても大切なことです。

また、アクシデントにより救助要請をしても、時間帯や天候によってはすぐに救助ができない場合がありますので、日帰りでも入山する際も、「**万が一に備えた装備(ビバーク装備等)を必ず携行しましょう。**」

※ビバーク装備とは??

**ツェルト(簡易テント)、ガスバーナー(火器類)、防寒着、非常食等**

積雪が多い場合は、雪洞やイグルーを作成することができます。スコップの携行や雪洞等を作成する技術は、身に付けておくと冬山登山では、大変有効です。

## ■山岳遭難発生状況～令和7年(2025年)1月1日～3月2日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和7年	29	3	2	10	22	37	15
うち)単独登山	13	1	3	3	6	13	7
令和6年	38	8	0	8	30	46	16
うち)単独登山	9	2	0	0	7	9	2
前年同期比	-9	-5	+2	+2	-8	-9	-1
うち)単独登山	+4	-1	+3	+3	-1	+4	+5

■山域別発生状況～ 令和7年(2025年)1月1日～3月2日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0%	0	0	0	0
	後立山	8	27.6%	1	0	3	9
	その他	0	0%	0	0	0	0
	計	8	27.6%	1	0	3	9
中央アルプス	2	6.9%	0	0	1	2	3
南アルプス	1	3.4%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰	3	10.3%	0	0	2	1	3
その他の山岳	15	51.7%	2	2	3	10	17
計	29		3	2	10	22	37

■態様別発生状況～ 令和7年(2025年)1月1日～3月2日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	3	10.3%	1	0	2	0	3
転倒	9	31.0%	1	0	8	0	9
病気	2	6.9%	0	0	0	2	2
道迷い	8	27.6%	0	0	0	13	13
落石	0	0%	0	0	0	0	0
雪崩	1	3.4%	0	0	0	1	1
落雷	0	0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0%	0	0	0	0	0
不明・他	6	20.7%	1	2	0	6	9
計	29		3	2	10	22	37

■男女別・年齢別発生状況 ～ 令和7年(2025年)1月1日～3月2日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	2	2	12 37.5%	0	0	0	0	0	4 80.0%	2	16 43.2%
20代	0	0	0	4	4		0	0	0	1	1		5	
30代	1	1	1	3	6		0	0	1	2	3		9	
40代	1	0	3	2	6	12 37.5%	0	0	0	0	0	1 20.0%	6	13 35.1%
50代	0	0	1	5	6		0	0	1	0	1		7	
60代	0	0	3	2	5	8 25.0%	0	0	0	0	0	0 0%	5	8 21.6%
70以上	1	1	0	1	3		0	0	0	0	0		3	
計	3	2	8	19	32		0	0	2	3	5		37	
率	86.5%						13.5%							

\* 内容は、長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。

[mt-tourism@pref.nagano.lg.jp](mailto:mt-tourism@pref.nagano.lg.jp)

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝